

## A・S防音ドア 旧仕様戸当り→新仕様戸当り 交換マニュアル

### 目次(作業の流れ)

- ①旧パッキンの取り外し・・・旧仕様気密パッキンを戸当りから剥がします
- ②旧戸当りの取り外し・・・枠の左右の縦戸当りを取り外します
- ③新上戸当り・新沓摺の取り付け・・・枠の上下の戸当りおよび沓摺(新仕様)を取り付けます。
- ④新縦戸当りの取り付け・・・枠の左右の新仕様縦戸当りを取り付けます。
- ⑤新パッキンの取り付け・・・新仕様パッキンを戸当りに取り付けます。
- ⑥戸当り調整・・・パッキンと扉に隙間が出来ないように戸当り・沓摺の位置を調整して固定します。

### 必要工具

のこぎり(小さめの手のこをお勧めします)

プラスドライバー(手回しドライバー)

## ①パッキンの取り外し

枠の四周の戸当りについてはいる気密パッキン(植毛ゴム)を取り外します(パッキンは両面テープで貼り付けられています)。

## ②旧戸当りの取り外し

1. 取り外しをする戸当りの調整用のビス孔隠しキャップを外します。

※キャップは再度使用しますので、無くさないようにして下さい。

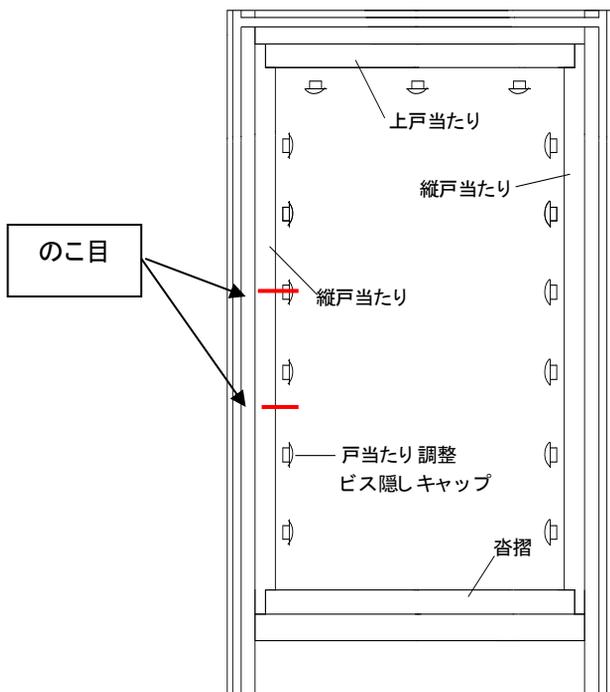
2. 戸当りの孔から戸当り固定ねじが見えるので、プラスドライバーを使用して、ビスを抜き取ります。

※このビスは再度使用しますので、無くさないようにして下さい。



- ③左右いずれかの縦側戸当りを外します。

縦側戸当りは上戸当りと沓摺に組み込むように取り付けられているので下記のように一部を切断して取り外してください。



交換する戸当りの中程を2カ所のこ目を入れ、戸当りを取り外します。  
(この目の位置に特に指定はありません。)

※このこ目を入れる際に、枠を傷つけないように注意してください。  
※中程の戸当りを取り外す際に上部の戸当りが抜け落ちないように注意してください。  
(手で押さえてください。)

その後、縦側戸当りの残りの上部分・下部分を  
取り外してください

- ④残りの戸当りを取り外します。

上戸当り・沓摺を外した縦戸当たりがあった方にスライドさせると外れます。  
最後に残った縦戸当りを外します。

※上戸当り・沓摺を外す際に残った縦戸当たりが倒れてこないようご注意ください。

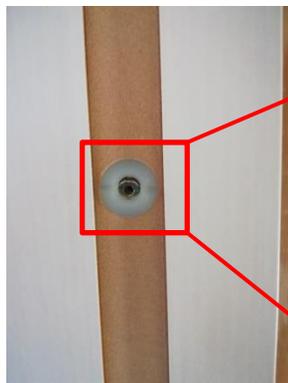
### ③新上戸当り・沓摺の取り付け

新仕様の上戸当り・沓摺を取り付けます。

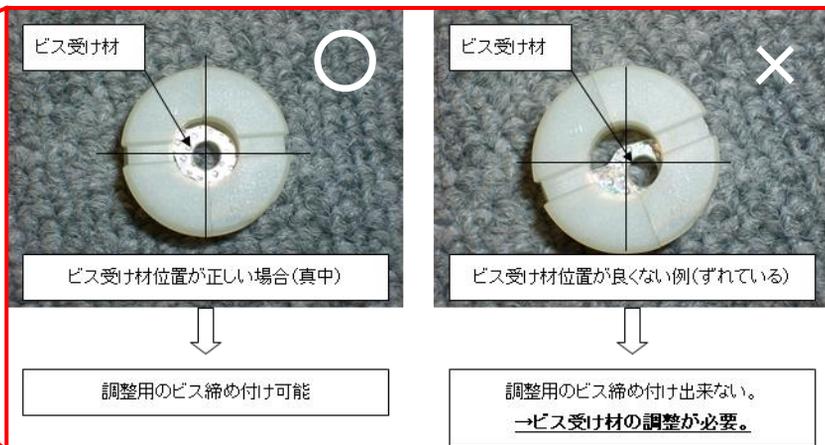
取り付けを行う前に下記を確認ください。

【1】戸当り溝にごみ等が無いかを確認ください。ごみ等がある場合は清掃してください。

【2】ポジションアダプタ(枠に取り付けている白い樹脂)の受け材が穴の中心付近にあることを確認してください。中心付近にない場合は、先の細いドライバー等で中心付近に移動させてください。(下写真)

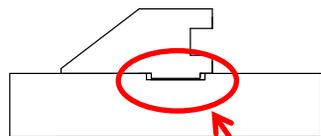


ポジションアダプタ  
(枠につけている状態)

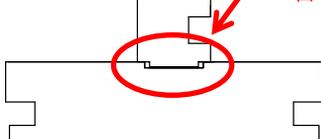


戸当り・沓摺を裏面の凸部分が枠の溝部にはまる位置に合わせ(下図①)、固定ねじで仮固定してください。なお、戸当り・沓摺の向きを間違えないようご注意ください(パッキン取り付け溝がある方を扉側に向けてください)。固定ねじはきつく締めずに緩めにしておいてください。(最終調整時に本締めします。)

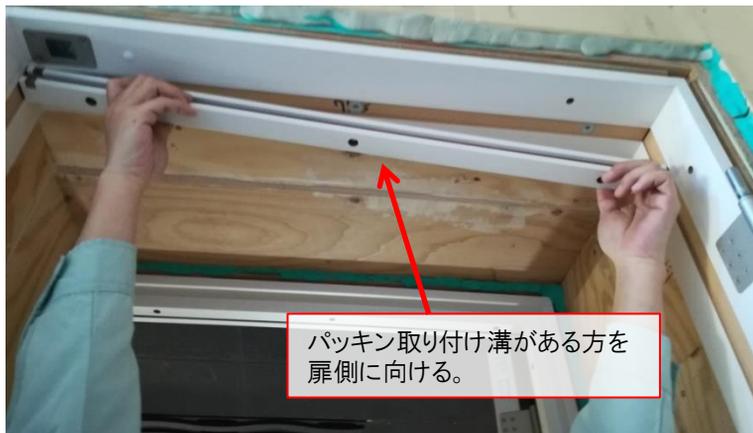
沓摺



戸当り



沓摺・戸当り裏面の  
凸部を枠の溝に  
合わせる



#### 注意

固定ネジの留めつけは必ず手回しドライバーを使用してください。電動ドライバー(インパクトドライバー)を使用すると固定ネジの頭がつぶれる恐れがあります。



#### 注意

上戸当り・沓摺の左右にはパッキンを差し込む溝があり、角部が細い突起状になっていますので、取り付けの際に破損しないように十分気をつけてください。



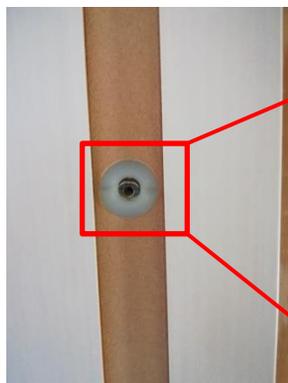
#### ④縦戸当りの取り付け

左右の縦戸当りを取り付けます。

取り付けを行う前に下記を確認ください。

【1】戸当り溝にごみ等が無いかを確認ください。ごみ等がある場合は清掃してください。

【2】ポジションアダプタ(枠に取り付けている白い樹脂)の受け材が穴の中心付近にあることを確認してください。中心付近にない場合は、先の細いドライバー等で中心付近に移動させてください。(下写真)



ポジションアダプタ  
(枠についている状態)



調整用のビス締め付け可能



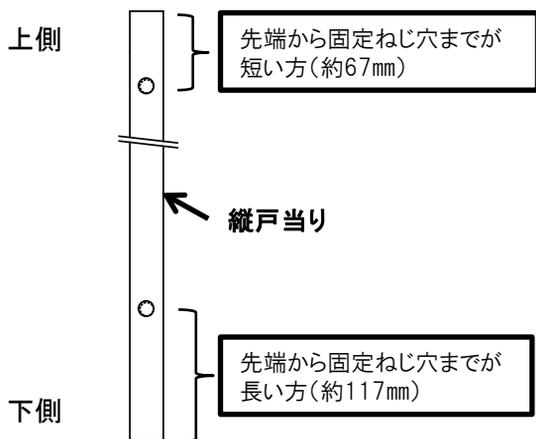
調整用のビス締め付け出来ない。  
→ビス受け材の調整が必要。

縦戸当りは上下方向があります。

下図で位置を確認ください。(固定ねじ穴と枠側のポジションアダプタの位置が合っていることを目視で確認ください。)

また、パッキン溝が上戸当り、沓摺と同じ向きであることを確認してください。

#### 戸当り上下方向について



#### 縦戸当り取り付け要領

手順1 縦戸当りを丁番側に軽く傾けた状態で下端を沓摺の位置にあわせませす。

縦戸当りを軽く下に押さえて、黒いスポンジ部をつぶすようにしてください。

手順2 縦戸当り上端を横にスライドさせるようにして、縦戸当りを垂直に起こします。

手順3 縦戸当りを固定ビスで仮止めします(この時点ではゆるめに締めます。

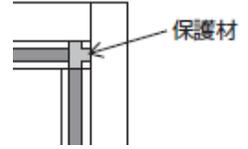
本締めは最終調整後に行います)。



## ⑤パッキンの取り付け

### ■取り付けの前に

上戸当りおよび沓摺を新品に交換する場合は、パッキンの取り付け前に両端にあるT型の保護材(白色樹脂製)を戸当り溝から外してください。

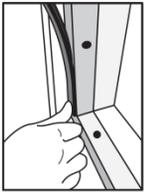
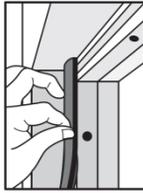


### ■取り付け手順

パッキンは縦勝ちです。①縦用パッキン(長手)→②横用パッキン(短手)の順ぬ下記の要領で取り付けてください。

#### ①縦用パッキンの取り付け

・縦用パッキンの上端30mm程度を上枠との隙間が出来ないように上戸当りの溝(十字部分)に差し込んでください。



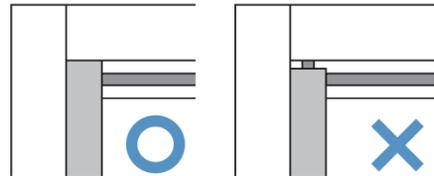
・縦用パッキンの下端30mm程度を上枠との隙間が出来ないように下戸当りの溝(十字部分)に差し込んでください。



・縦用パッキンの中央部付近を戸当りの溝に差し込んでください。

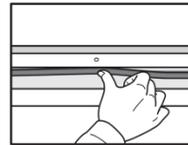
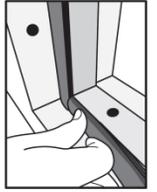
・縦用パッキン全体を浮きがないようにしっかりと戸当り溝に差し込んでください。

❗ 縦用パッキンの両端と上下の枠の間に隙間ができないようにご注意ください。隙間があると音漏れの原因となります。



#### ②横用パッキンの取り付け

・横用パッキンの両端30mm程度を縦用パッキンとの隙間が出来ないように戸当り(沓摺)の溝に差し込んでください。



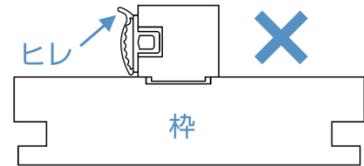
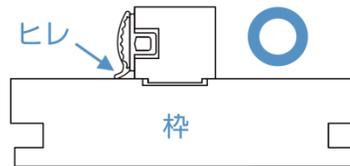
・横用パッキンの中央部付近を戸当り(沓摺)の溝に差し込んでください。

・横用パッキン全体を浮きがないようにしっかりと戸当り溝に差し込んでください。

❗ 横用パッキンの両端と上下の枠の間に隙間ができないようにご注意ください。隙間があると音漏れの原因となります。



❗ パッキンは「ヒレ」が枠に当たる向きに差し込んでください(下図参照)。逆向きに差し込むと音漏れや動作不具合の原因になる可能性があります。



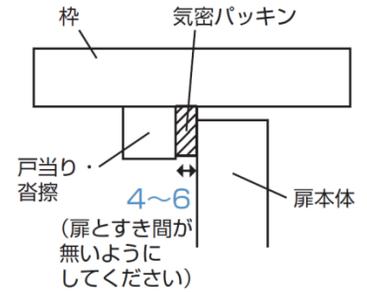
❗ パッキンを現場でカットしないでください。音漏れの原因となる恐れがあります。

❗ パッキンは必ず上記手順にて差し込んでください。端から順に差し込むとパッキンの伸張により正しく施工できません。(パッキンの長さが余ります)

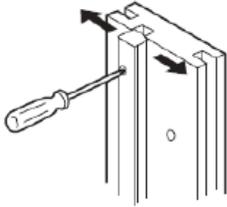
## ⑥戸当り調整

扉と調整戸当りの位置調整を行います。

下記、戸当り・沓摺の調整方法にしたがって戸当り・沓摺の前後位置を調整し、扉と戸当りのクリアランスが4～6mmになるようにしてください。

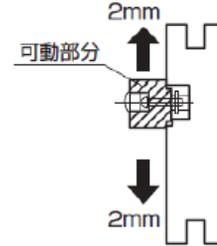


### 調整戸当りの調整方法



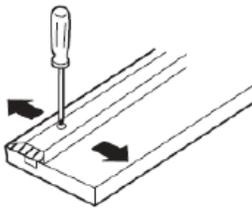
戸当りの穴隠しキャップを外し、プラスドライバーで、戸当り固定ビスを軽くゆるめ、戸当りを前後に調整してください。調整がおわりましたら戸当り固定ビスを元通り締め直してください。締め方が足りないと音洩れの原因となります。その後、同梱している穴隠しキャップを取付けてください。

### 気密パッキン付き調整戸当り



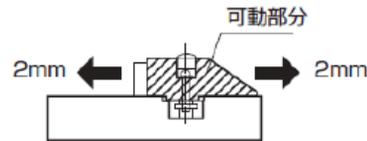
- ❗ 戸当りの調整は必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバー等を使用するとビスの頭がつぶれて操作できなくなる場合があります。
- ❗ 戸当り固定ビスをゆるめすぎると固定ビスが抜け落ちますのでゆるめすぎないようにご注意ください。

### 調整沓摺の調整方法



沓摺の穴隠しキャップを外し、プラスドライバーで沓摺固定ビスを軽くゆるめ、沓摺を前後に調整してください。調整がおわりましたら戸当り固定ビスを元通り締め直してください。締め方が足りないと音洩れの原因となります。その後、同梱している穴隠しキャップを取付けてください。

### 気密パッキン付き調整沓摺



- ❗ 沓摺の調整は必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバー等を使用するとビスの頭がつぶれて操作できなくなる場合があります。
- ❗ 戸当り固定ビスをゆるめすぎると固定ビスが抜け落ちますので、ゆるめすぎないようにご注意ください。